

第21回「野生生物と社会」学会 沖縄大会  
公開シンポジウム

# 奄美・沖縄における 地域主体による 野生生物の保全と活用の 主流化に向けて

—地域の生物文化多様性に  
根差した基盤づくりを考える—

入場無料・参加申し込み不要

本シンポジウムでは、奄美・沖縄の生物文化多様性の今日的意義を認識し、地域主体によるエコツーリズムに関する取り組みなどの事例から、野生生物の保全と持続的利用における地域の役割について考え、その可能性について展望してみる。

## 基調講演

生物文化多様性と地域の福祉のこれから  
湯本貴和（京都大学霊長類研究所）

## パネルディスカッション

### パネリスト

中山清美（奄美群島文化財保護対策協議会）  
中根 忍（やんばるエコツーリズム研究所）  
島袋正敏（もくもく百年塾蔓草庵）  
徳岡春美（NPO法人西表島エコツーリズム協会）  
湯本貴和（京都大学霊長類研究所）

### コーディネーター

鬼頭秀一（星槎大学共生科学部）

主催：「野生生物と社会」学会

共催：琉球大学国際サンゴ礁研究教育ハブ形成プロジェクト  
NPO法人沖縄エコツーリズム推進協議会



11/22 (日)

15:00~18:30

琉球大学

共通教育棟

1号館118教室

